



14 冊の本棚 #37

2013.11.28-12.27

外国学図書館 2 階閲覧室

適塾、 江戸期の蘭学・洋学者たち — 司馬遼太郎『花神』を糸口にして

2013 年も終わりが近づいてきました。今年は大阪大学の原点「適塾」の創設 175 周年、その開祖である緒方洪庵の没後 150 年にあたります。そしてまた、大阪外国語学校蒙古語部（のち大阪外国語大学、現大阪大学外国語学部）の卒業生である小説家・司馬遼太郎の生誕 90 年の年でもありました。

適塾についてはさまざまな本で取り上げられていますが、司馬遼太郎が適塾出身の兵学者・大村益次郎の生涯を描いた小説『花神』でも、塾生たちのようすが生き生きと描かれています。そこで今年最後の 14 冊の本棚では『花神』を糸口として、適塾、そして江戸期の蘭学・洋学者たちの周辺を知ることができる本をご紹介します。

